

# 一般質問

6月議会では15名の議員が市政に対して、一般質問を行いました。  
議会だよりでは、一般質問の要旨を各議員の文責において掲載しております。  
土岐市ホームページでは、インターネットによる議会映像の配信や定例会・臨時会の会議録を掲載しています。ぜひアクセスして詳細をご覧ください。



## 一般質問へのアクセス方法

### 視聴の場合

土岐市ホームページ ⇒ 市議会 ⇒

### どちらかの方法

議会ライブ中継 ⇒ 議会の日程から選ぶ  
⇒ 視聴したい日にち ⇒ 一般質問  
議会ライブ中継 ⇒ 議員の名前から選ぶ ⇒ 日時を選ぶ

### 文書の場合

土岐市ホームページ ⇒ 市議会 ⇒  
議会会議録検索 ⇒ 会議録検索システムへ

## 《第3回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案

問 土岐市美濃陶磁歴史館は、開館か

り「地域を支える人づくり」「健やかでいきがいのもてる暮らしづくり」の3つの柱を打ち出した。

◆愛着と誇りをもてるまち実現に向けた取組について  
●市長の掲げる「愛着と誇りをもてるまち」実現のための3つの柱について、どのように取り組むのか。  
●市民同士や行政とのコミュニケーション、パートナーシップといった市民の皆さんとの協働活動が活発になるほど、社会の効率性が向上する。少子化や人口減少といった社会基盤に影響を与える大きな課題と、DXやGXといった変革にも対応しながら、いかに地域を持続させ活性化させるかが問われている。こうした課題には、新しい社会の創造にも等しい取り組みが求められている。そのとき大切にしたいことは、自分たちのまちの未来を皆さんといっしょに考え、つくり、育むという姿勢である。その具体的な取り組み、道しるべとして、「愛着のもてるまちづくり」「地域を支える人づくり」「健やかでいきがいのもてる暮らしづくり」の3つの柱を打ち出した。



● 杉浦 司美 ●

る範囲のことを取り組んでいきたい。

●流鏑馬神事は、地元の人々が大事にしている行事であり、どのようなサポートをしていくかについては、地元の人々と協議しながらできる範囲のことを取り組んでいきたい。

●八幡神社の流鏑馬神事は、約400年前から続く歴史ある伝統行事であり、土岐市の無形民俗文化財に指定されている。観光資源としての情報発信、伝統文化の継承の観点からも情報発信、環境整備について、よりサポートをすることはできないか。

●国指定史跡や市指定史跡など市内でも特に重要な施設が集中するエリアで、美濃焼のランドマークとして、多様なつながりやまちのにぎわいづくりに資する館活動を実施する拠点施設として位置づけられている。新しい博物館が、一度は行ってみたい場所、何度も訪れたい場所、誰かを連れて行きたい場所であり、歴史文化のよりどころ、原風景」となれるよう目指していく。引き続き情報提供にも努め進めていきたい。

●国指定史跡や市指定史跡など市内でも特に重要な施設が集中するエリアで、美濃焼のランドマークとして、多様なつながりやまちのにぎわいづくりに資する館活動を実施する拠点施設として位置づけられている。新しい博物館が、一度は行ってみたい場所、何度も訪れたい場所、誰かを連れて行きたい場所であり、歴史文化のよりどころ、原風景」となれるよう目指していく。引き続き情報提供にも努め進めていきたい。

●国指定史跡や市指定史跡など市内でも特に重要な施設が集中するエリアで、美濃焼のランドマークとして、多様なつながりやまちのにぎわいづくりに資する館活動を実施する拠点施設として位置づけられている。新しい博物館が、一度は行ってみたい場所、何度も訪れたい場所、誰かを連れて行きたい場所であり、歴史文化のよりどころ、原風景」となれるよう目指していく。引き続き情報提供にも努め進めていきたい。

●国指定史跡や市指定史跡など市内でも特に重要な施設が集中するエリアで、美濃焼のランドマークとして、多様なつながりやまちのにぎわいづくりに資する館活動を実施する拠点施設として位置づけられている。新しい博物館が、一度は行ってみたい場所、何度も訪れたい場所、誰かを連れて行きたい場所であり、歴史文化のよりどころ、原風景」となれるよう目指していく。引き続き情報提供にも努め進めていきたい。

●国指定史跡や市指定史跡など市内でも特に重要な施設が集中するエリアで、美濃焼のランドマークとして、多様なつながりやまちのにぎわいづくりに資する館活動を実施する拠点施設として位置づけられている。新しい博物館が、一度は行ってみたい場所、何度も訪れたい場所、誰かを連れて行きたい場所であり、歴史文化のよりどころ、原風景」となれるよう目指していく。引き続き情報提供にも努め進めていきたい。

●国指定史跡や市指定史跡など市内でも特に重要な施設が集中するエリアで、美濃焼のランドマークとして、多様なつながりやまちのにぎわいづくりに資する館活動を実施する拠点施設として位置づけられている。新しい博物館が、一度は行ってみたい場所、何度も訪れたい場所、誰かを連れて行きたい場所であり、歴史文化のよりどころ、原風景」となれるよう目指していく。引き続き情報提供にも努め進めていきたい。

●国指定史跡や市指定史跡など市内でも特に重要な施設が集中するエリアで、美濃焼のランドマークとして、多様なつながりやまちのにぎわいづくりに資する館活動を実施する拠点施設として位置づけられている。新しい博物館が、一度は行ってみたい場所、何度も訪れたい場所、誰かを連れて行きたい場所であり、歴史文化のよりどころ、原風景」となれるよう目指していく。引き続き情報提供にも努め進めていきたい。

●国指定史跡や市指定史跡など市内でも特に重要な施設が集中するエリアで、美濃焼のランドマークとして、多様なつながりやまちのにぎわいづくりに資する館活動を実施する拠点施設として位置づけられている。新しい博物館が、一度は行ってみたい場所、何度も訪れたい場所、誰かを連れて行きたい場所であり、歴史文化のよりどころ、原風景」となれるよう目指していく。引き続き情報提供にも努め進めていきたい。

●国指定史跡や市指定史跡など市内でも特に重要な施設が集中するエリアで、美濃焼のランドマークとして、多様なつながりやまちのにぎわいづくりに資する館活動を実施する拠点施設として位置づけられている。新しい博物館が、一度は行ってみたい場所、何度も訪れたい場所、誰かを連れて行きたい場所であり、歴史文化のよりどころ、原風景」となれるよう目指していく。引き続き情報提供にも努め進めていきたい。

●国指定史跡や市指定史跡など市内でも特に重要な施設が集中するエリアで、美濃焼のランドマークとして、多様なつながりやまちのにぎわいづくりに資する館活動を実施する拠点施設として位置づけられている。新しい博物館が、一度は行ってみたい場所、何度も訪れたい場所、誰かを連れて行きたい場所であり、歴史文化のよりどころ、原風景」となれるよう目指していく。引き続き情報提供にも努め進めていきたい。

●国指定史跡や市指定史跡など市内でも特に重要な施設が集中するエリアで、美濃焼のランドマークとして、多様なつながりやまちのにぎわいづくりに資する館活動を実施する拠点施設として位置づけられている。新しい博物館が、一度は行ってみたい場所、何度も訪れたい場所、誰かを連れて行きたい場所であり、歴史文化のよりどころ、原風景」となれるよう目指していく。引き続き情報提供にも努め進めていきたい。

●国指定史跡や市指定史跡など市内でも特に重要な施設が集中するエリアで、美濃焼のランドマークとして、多様なつながりやまちのにぎわいづくりに資する館活動を実施する拠点施設として位置づけられている。新しい博物館が、一度は行ってみたい場所、何度も訪れたい場所、誰かを連れて行きたい場所であり、歴史文化のよりどころ、原風景」となれるよう目指していく。引き続き情報提供にも努め進めていきたい。

●国指定史跡や市指定史跡など市内でも特に重要な施設が集中するエリアで、美濃焼のランドマークとして、多様なつながりやまちのにぎわいづくりに資する館活動を実施する拠点施設として位置づけられている。新しい博物館が、一度は行ってみたい場所、何度も訪れたい場所、誰かを連れて行きたい場所であり、歴史文化のよりどころ、原風景」となれるよう目指していく。引き続き情報提供にも努め進めていきたい。



● 北谷 峰二 ●

◆市民バスについて

問自動車免許証自主返納された方の市民バス、相乗りタクシー「のってこ」の回数券申請件数は。

答申請件数は令和元年度231件、令和4年度112件。交付は令和4年度タクシー76件、バスが36件、傾向としてバスよりタクシーを選ばれる方のほうが多い。

問利用者減少傾向の原因はコロナ禍の影響なのか人口減少に因るものなのかどう分析されているのか。

答少子高齢化やモータリゼーションが進んでいると言うことが背景にあることと、コロナ後で回復していない高齢化と言うことで、公共交通に對するニーズの本身が変わってきた。要望を期待する路線と、今ある路線とのアンマッチングを感じている。

問小型バスからワンボックスカーに変えれば経費削減となり、小型バスより小回りが利き、路線を増やして細やかに回ることが可能と考えるが。

答今後高齢化によりデマンド交通の様な形態のニーズが高まること

想でき、狭い道でも走行できるワンボックスカーの様な車輛の必要性が高まると考えており、路線や時間帯によっては細かい運行を組み合わせた様なハイブリッドな運行をするなど利用者にとって、利便性の高い路線の在り方について、今後色々と地域の皆様の意見やデータ等勘案しながら検討を考えている。

◆ゼロカーボン推進事業について

問公共施設、個人宅の太陽光発電パネルの設置状況はどのようなか。

答公共施設は昨年度から建物耐震基準、屋根形状、空きスペース、立地状況等を勘案し簡易な調査を進め実際に設置する際新たに建物の構造計算設置に十分耐える補強必要優先順位を付け設置する建物、指標についても具体的に検討。個人宅は令和3年度累積導入件数2137件全世界の約9%設置と推測している。今実施事業は県の補助事業を活用し太陽光発電設備等設置費補助金交付を開始し昨年度実績太陽光発電7件蓄電池5件交付し今年度も募集を開始する。今年度地球温暖化対策実行計画の区域施策編を策定し温室効果ガス排出量削減ゼロカーボンに向けた地域再生可能エネルギー導入目標を入れ体系的に作った上で進めていきたい。

◇その他に「動物愛護について」を質問いたしました。

《第3回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案



● 小関 篤司 ●

◆駄知診療所の充実について

問令和3年度1月から、週5日で朝から夕方までの診療が週3日午前中のみにサービス縮小されましたが、駄知診療所の患者の推移は。

答令和元年度の延べ患者数は8728人、1日当たりの患者数は37人、実患者数は562人。令和4年度の延べ患者数は1174人、1日当たりは8人、実患者数は250人です。

問サービスが悪化して使いづらくなっています。駄知診療所の充実、今後を市はどう考えていますか。

答一般内科のある診療所の1日平均患者数と比較すると、大変少ない状況で、受入れに支障がない状況なので、診療体制を継続し、医師・看護師等の限られた医療資源を有効に活用していく考えです。一次医療の体制充実というのは行政が果たすべき役割とは違うと認識しています。

問駄知診療所充実の請願に反する状況が続いているが、市長の考えは。

答（市長）請願は非常に重いものだと受け止めています。しかし、現状

で行政の果たすべき役割は民間事業者でカバーできないサービスを補填するという考え方があります。あり方検討委員会で明確に一次医療は土岐医師会で充足、市は二次医療の充実に力を注いでほしいという考えです。一次医療は医師会と連携しながら、体制を整えていく努力は引き続き必要と思っています。

◆認知症になっても安心して暮らせる地域づくり

問市内の認知症の方の現状はどうか。

答厚生労働省では有病率は20・6%と捉えており、本市に当てはめると、2025年に3600人と想定しています。

問認知症の損害賠償保険の自治体保険料負担を検討する考えはないか。

答保険料負担は、認知症自体が高齢者の5人に1人が発症と言われ、他市の実施状況等も考慮し、7月から事業を開始したいと考えております。



駄知診療所



● 塚本 俊一 ●

#### ◆自治基本条例について

(まちづくり基本条例)

◎多治見市、瑞浪市には、市政基本条例とか、まちづくり基本条例が施行されているが、土岐市としてどう考えるか。

◎まちづくりの在り方について幅広く市民の方々の市政への参画をいただきながら審議と議会の議決を経て定められる総合計画を推進していくことは、地方自治において自治基本条例制定よりもさらに実効性の高いものであると考えております。したがって、現在のところ自治基本条例を制定することは考えておりません。

◎過去の一般質問で歴代の市長の見解が違うが、現・加藤市長の考えは。

◎総合計画をきっちり推進していくことがまさに自治基本条例の精神に代わるものではないかというふうに考えておりまして、現状のところそういう条例を定めるという考えはございません。

◆常設住民投票条例について  
◎常設住民投票条例をつくる意志が

あるか。

◎(市長) 私自身としては常設の投票条例をつくるというよりも、むしろ個別に、そのテーマごと、必要な課題ごとに条例をつくっていく、そのほうがそれをまさに住民の皆さんの声を聞くべきかどうかという論点も含めて議論するわけでございますので、そういったほうがいいのかないというふうに思っているところでございます。

#### ◆セカンドブックについて

◎現・加藤市長は、読書推進に力を入れておられるが、セカンドブックの実施を考えているか。

◎担当部局の一連の事業の中で検討しながら取り組んでいると聞いています。

#### ◎サードブックについて

◎学校図書館を充実させ、それから市立図書館と結び、セカンドブック・サードブックの考え方をもう少し広域的に広く捉えながら考え、今進んでおります。

#### ◎英語版を加えたセカンドブックは。

◎A・L・Tを図書館のほうへ派遣させていただき、読み聞かせ活動をする。

#### ◆消防行政について

◎軽救急車の導入を考えているか。

◎傷病者の方の自宅まで行けず担架等での搬送もありますが、現救急体制で支障がなく導入計画ありません。

### 《第3回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案



● 木股 英明 ●

#### ◆地場産業について

◎燃料価格や物価高騰に苦しむ地場産業を守るために、市としてどのような支援ができるか。

◎今定例会で補正予算を計上しております。窯業・土石製品製造業と、それ以外の製造業に分けてまして、LPGガス使用量に応じて段階的に金額を設定しております。

◎その他の支援は考えておられませんか。また、昨年度実施されたような県の支援はないのでしょうか。

◎その他の支援については考えておりません。県の支援策は、今年度は家庭・業務用でLPGガスを契約している一般家庭などに利用料金から最大税抜きで4,500円の値引きを行うと聞いております。

#### ◆地場産業の雇用確保について

◎地場産業は雇用確保のため、特定技能制度の適用を切望しておりますが、土岐市は国や県に対してどのような働きかけができるか。

◎この問題は、全国の陶磁器製造業が丸となって取り組むことが肝要

である。外国人の受け入れには、生活する環境づくりも整備していく必要がある。行政も業界と協調して支援してまいりたい。

#### ◆子育て支援の強化について

◎加藤市長のお考えになる子育て支援とはどのようなものか。

◎来年度から市内全地区における認定こども園化を進め、保護者の就労状況にかかわらず希望する施設を利用できる環境を整備する。また、子育て世代の孤立化を防止するため、妊娠から出産・子育て期を通して必要なサービスの提供と気軽に相談できる機会を設ける。

#### ◎給食費の無償化はできませんか。

◎学校給食法では、給食の経費のうち設備・施設運営の経費以外は保護者が負担すると定められている。基本的にはこの定めに基づき、食費は保護者に負担してもらう考え方で、現在のところ無償化の予定はない。ただし物価高騰する中、昨年度と本年度それぞれ1500万円の予算措置を行い高騰分の給食食費については市で負担している。

◎新小学1年生への通学かばん無償配布はできませんか。

◎通学かばんの指定はありません。この実施については給食費の補完とは少し次元の違う話なので、教育委員会としては、実施は考えていない。





山内 健

◆全世代健康寿命延伸事業について  
私と加藤淳司市長は同世代の同年の者として、お互い納得共感出来るところがありましたから、それを踏まえて質問します。

問ときげんきプロジェクトについて、その中で運動習慣づくりとフレイル予防について質問します。

子供と高齢者に対する運動習慣づくり、フレイル予防対策の相違点と問題点をどう捉えていますか。

答(市長) 高齢者に対する施策としてはフレイル予防、子供たちには運動習慣をつくっていただくという着眼点です。

フレイル予防というのは高齢者がいつまでも元気で暮らすために、運動、栄養、社会参加、この3つの要素を取り入れた講座や教室などの取り組みを実施しています。子供たちに対する運動習慣づくりとして、アクティブ・チャイルド・プログラム導入により楽しみながら体を動かす体験をしてもらうということをしています。いろんな取り組みをしています。

く中で、効果のあるものを引き続き続けていきたいと思っています。

問子供と高齢者と一緒になって、そういう対策をするという考えについては、どうお考えですか。

答(市長) 子供たちの運動習慣づくりという目的と高齢者のフレイル予防の中の運動、栄養、社会参加というところ、そういったことを組み合わせることは可能かと思いますが、現状は、それぞれの対象に向けた教室とか、そういった形で取り組んでいると理解いただければと思います。

問高齢者が運動習慣づくりというところで、グラウンド・ゴルフの活動を行ってみえますが、グラウンド・ゴルフとなると活動場所が広い場所が必要であり、また使用料の負担があるが、これについてどのような支援がありますか。

答 高齢者のグラウンド・ゴルフ等の活動場所の使用料負担は、土岐市在住の60歳以上で組織されましたシルバークラブというところで会員名簿を提出した団体に関しては、使用料2分の1の減免を行っています。

また、各種目協会の活動に際しても、土岐スポーツ協会を通じてのスポーツ振興補助金、市・県大会参加の補助、教室開催補助などを行い、運動習慣づくりの促進を図っています。

### 【第3回定例会一般質問】

●印は議員の意見・提案



安藤 学

◆ふるさと納税について

問令和4年度の実績は。

答 総額は5億2429万7千円、総件数は2万5千34件です。

問ふるさと納税の各業種の給付金額と件数、6事業の寄付金と具体的な事業内容、美濃焼が占める割合は。

答(1)市民の健康を守るための健康診断事業。寄付額1億92万4千円、4658件。(2)子どもの力を伸ばす読書推進事業や学校支援員を学校に配置する事業。寄付額1億3781万3千円、6747件。(3)安心して子育てできる環境づくり事業。寄付額1億1897万9千円、5877件。(4)文化財保存活用拠点整備事業は、寄付額4166万4千円、2121件。(5)市内経済の活性化を図る事業は、美濃焼PR委員会事業等。寄付額2364万9千円、1133件。(6)市政全般は、HPのリニューアルや基金に積み立てる。寄付額1億126万8千円、4711件。  
美濃焼が占める割合は、全体の80%以上になっている。

問納税額を増やす策は。

答 参加事業者を増やすこと、返礼品のアイテム数を増やすことが最も大切なことであると考えている。

問支障となる課題として写真が撮れないという意見が多い。

答 写真については撮り方をより分かりやすく掲載し委託事業者にアドバースをさせていただいている。

◆肥田、浅野地区の排水と道路整備  
問病院建設による雨水、交通安全対策について

答 建設地からの雨量のほとんどは狭間川に流れることになり、そのため調整池を整備し、豪雨の際には一旦調整池で雨水を貯留した後、放流量を絞って狭間川へ排水することで下流域への影響を抑制する。1時間当たり183ミリの降雨強度を基に、排水面積や開発後の流出係数、下流域、下流河川への流下能力を計算し整備するものです。また、3河川については、排水計画により河川改修工事を設計し工事を進めます。

問交通量が増える道の安全対策は。

答 陶元浅野線は両側に歩道を設置、歩行者と車を分離、浅野朝日町交差点は、改良工事を計画している。

問市道の狭い側溝の整備は。

答 狭い市道の側溝については、町内要望で上げていただいているものを中心に必要なに応じて対応いたします。